

報道関係者各位

2023年2月15日
野村不動産株式会社
株式会社ケン・コーポレーション

住宅・事務所・商業・ホテルの超高層棟と三寺社からなる複合再開発
『西麻布三丁目北東地区第一種市街地再開発事業』
権利変換計画認可のお知らせ

野村不動産株式会社（本社：東京都新宿区、代表取締役社長：松尾 大作）、株式会社ケン・コーポレーション（本社：東京都港区、代表取締役会長：佐藤 繁 代表取締役社長：中川 堅悟）の2社は、東京都港区にて権利者の皆様と推進しております「西麻布三丁目北東地区第一種市街地再開発事業（以下、本事業）」（施行者：西麻布三丁目北東地区市街地再開発組合）が、2023年2月15日に権利変換計画について東京都知事の認可を受けましたことをごお知らせいたします。

本事業の施行地区は、東京メトロ日比谷線および都営大江戸線「六本木」駅から西へ約 300m、「六本木ヒルズ」に隣接する約 1.6ha の区域です。現状の区域内は、緊急輸送道路に指定されている補助 10 号線（テレビ朝日通り）の未整備、沿道の耐震性が不足する建物の存在、緑や公園等のオープンスペースの不足などの課題を抱えています。

本事業では、周辺市街地と調和した緑豊かで魅力ある複合市街地の形成を目指し、地上 54 階地下 4 階建、制震構造の超高層棟に住宅・事務所・商業機能を導入し、便利で快適な都心生活の舞台を提供してまいります。また、国際色豊かな西麻布、六本木エリアに相応しい国際水準の宿泊機能を備えるべく、外資系ラグジュアリーホテルブランドを誘致します。併せて、都市計画道路であるテレビ朝日通りの拡幅や、「六本木ヒルズ」を含む周辺地区との回遊性を高める歩行者デッキの整備、地域の拠点となるオープンスペース（広場）の整備により、まちの安全性・防災性を高めるとともに地域の賑わいを創出します。また、地区内の 3 つの寺社を再整備し、まちの歴史を継承してまいります。



再開発建物完成イメージ（現在計画中であり、今後変更となる可能性がございます）

■ 本事業の特長

- ✓ 東京メトロ日比谷線および都営大江戸線「六本木」駅から西へ約300m、「六本木ヒルズ」に隣接する約1.6haの第一種市街地再開発事業
- ✓ 地上54階地下4階建、制震構造の超高層棟に「住宅」・「事務所」・「商業」・「ホテル」の導入および地区内の3つの寺社を再整備し、まちの歴史を継承しながら周辺と調和した魅力ある複合市街地の形成
- ✓ 都市計画道路である補助10号線（テレビ朝日通り）の拡幅、周辺地区との回遊性を高める歩行者デッキとオープンスペース（広場）の整備による、まちの安全性・防災性の向上

■ 計画概要

事業の名称	西麻布三丁目北東地区第一種市街地再開発事業
施行者の名称	西麻布三丁目北東地区市街地再開発組合
施行地区	東京都港区西麻布三丁目及び六本木六丁目各地内
施行区域面積	約1.6ha
建築面積	超高層棟：約3,840㎡ 寺社（3棟）：約1,120㎡
延べ面積	超高層棟：約97,010㎡ 寺社（3棟）：約2,740㎡
建築物の高さ/階数	超高層棟：約200m/地上54階地下4階建 寺社（3棟）：約11～15m
主要用途	住宅、事務所、商業、ホテル、 神社及び寺院並びにこれらに付属する建築物、子育て支援施設
住宅の予定戸数	約500戸 ※権利者住戸含む
事業コンサルタント	株式会社都市設計連合
設計	株式会社梓設計（基本設計） 株式会社梓設計・大成建設株式会社一級建築士事務所（実施設計）
特定業務代行者	大成建設株式会社
参加組合員	野村不動産株式会社・株式会社ケン・コーポレーション

※記載の内容は、今後の協議によって変更になる場合があります。

■ これまでの経過と今後のスケジュール

2004年5月	まちづくり協議会が発足
2013年3月	市街地再開発準備組合を設立
2019年4月	都市計画決定
2020年9月	再開発組合設立認可
2023年2月	権利変換計画認可
2023年度	工事着工（解体工事含む）（予定）
2028年度	工事竣工（予定）
2029年度	組合解散（予定）

■ 位置図



■ 配置図

